

質疑・回答書

告示番号	第36号	件 名	平成26年度寺内配水池耐震補強工事
No	質疑事項		回 答
13	<p>特記仕様書P.11 (6)劣化補修工事 及び、設計図面145葉の内、55～81に明示されている側壁補修図面と柱補修図面には、「2号池及び4号池については劣化調査を実施し、補修を行なうこと」と明示されています。劣化調査費が設計書には計上されていませんが、設計変更と考えてよろしいでしょうか。また、その数量を御教示下さい。</p>		<p>2号池、4号池の劣化補修必要箇所については、現地にて受注者と監督職員が双方確認の上で決めたいと考えています。したがって、調査会社を使った劣化調査の実施は考えていません。</p>
14	<p>劣化補修工事で、1号池及び3号池の劣化に伴う事前調査費は不要と考えてよろしいでしょうか。劣化調査費が設計書には計上されていませんが、設計変更と考えてよろしいでしょうか。また、その数量を御教示下さい。</p>		<p>1号池、3号池は既に劣化調査実施済みです。ただし、既存防水モルタルハツリ後の躯体状況は、既存調査結果とは若干異なることが想定されるため、現地にて受注者と監督職員双方確認の上で劣化補修を行うものとしませす。</p>
15	<p>配水池内照明設備工が設計書に計上されていません。設計変更と考えてよろしいでしょうか。</p>		<p>共通仮設費に含まれているため、変更対象とはしません。</p>
16	<p>設計書P.53 応急給水施設設備工 一式当たり明細表に明示されている「逆T型擁壁」「コンクリートブロック積工」「コンクリート工(ブロック積天端・基礎)」の数量計算書を御支給下さい。</p>		<p>設計図にて数量を確認してください。なお、「逆T型擁壁」、「コンクリート工(ブロック積天端・基礎)」は施工パッケージ、「コンクリートブロック積工」は市場単価で積算しています。</p>
17	<p>P.82 16号内訳書 土工事(不断水立坑) 移植工(堀取り工)が2項目明示されていますが、この単価表には、運搬～移植工まで計上されているのでしょうか。また、運搬距離が不明です。御教示下さい。</p>		<p>移植工(堀取工)の対象範囲は市場単価対象範囲と同じです。運搬距離については、市場単価対象範囲30km未満(不断水立抗設置位置から配水池隣接部遊休地まで)と考えています。</p>
18	<p>P.131 40号明細書「安全費」 交通誘導員A及びBは、交代要員不要の昼間と考えて宜しいでしょうか。</p>		<p>そのように考えていただいて結構です。</p>
19	<p>設計書P.55 樹木処分費は、幹で考えておられるのでしょうか。幹・根及び枝葉等でそれぞれの数量を考えておられるのであれば、各数量をご教示願います。</p>		<p>樹木処分費は幹で考えております。数量も幹で計上しています。</p>

20	特記仕様書P.2に借地料の設定について明記されておりますが、場所が未決定の中でどこの路線価を採用しているのか解りかねます。積算上採用されている路線及び採用された年度をご教示願います。また可能であれば路線価をご教示願います。	特記仕様書P.2に記載しているとおり、借用地は寺内配水池隣接部の遊休地と考えています(別紙2参照)。路線価も配水池および遊休地東側に隣接する路線で算定しています。なお、採用年度は、平成25年度です。
21	大阪府公表単価は採用されているのでしょうか。採用されている場合は、採用月をご教示願います。また、採用されている品目をご教示願います。単価の優先順位は大阪府単価が一番と考えて宜しいでしょうか。	「水硬性粒度調整鉄鋼スラグ」、「真砂土」は資材調査単価(大阪府都市整備部)の平成26年4月版、特記仕様書P7、P8の残塊・発生土処分費、除去樹木処分費は建設発生土受入価格(大阪府都市整備部)の平成26年2月版を採用しています。なお、単価優先順位は、物価資料、資材調査単価(大阪府都市整備部)、見積の順に採用しています。
22	直接工事費において管材費・処分費等以外で、(全てまたは一部の金額が)諸経費の対象にならない項目がございましたらご教示願います。	ありません。
23	市販単価(建設物価・積算資料)は二誌平均または二誌安値のどちらを採用されているのでしょうか。	水道工事(厚生労働省)に関する項目については平均値、それ以外は安値を採用しています。
24	スクラップは直接工事として取り扱われ、直接工事費内で控除しているものと考えて宜しいでしょうか。また、それらは諸経費の対象となっていると考えて宜しいでしょうか。	そのように考えていただいて結構です。
25	管材費等において見積を採用している材料は最安値価格を採用しているのでしょうか。価格決定に当たり、査定を行う根拠式等がございましたらご教示願います。	基本的には見積の平均値を採用していますが、見積を徴収した管材料に類似品があれば、類似品の実勢率で見積単価を査定しています。
26	設計書P.348、350 HIパイプ、エルボ及びキャップの明記がございません。管材費としての扱いをされているのでしょうか。	管材費として扱っています。